



Diversity Festa 2022

日時：2022年11月13日（日）10：00～17：00
場所：明治大学中野キャンパス（東京都中野区中野4-21-1）
後援：明治大学・中野区・明治大学国際日本学部
<http://allstars.m-kishi.com/diversity-fes-2022/>

Diversity Festa 2022 は①体験企画、②知る企画、③条例実質化企画の3つの柱で構成されています。
以下、企画一覧です。（10.18時点）

体験企画

『横田ゼミ』：人間が情報の87%を得ていると言われる“視覚”以外の感覚を最大限に使う体験をしてもらいます。アイマスクを着用し、視覚以外の聴覚、触覚、味覚、嗅覚のみで様々な体験をしてもらう「暗闇カフェ」を実施します。

『NPO法人ピープルデザイン研究所』：「就労体験プロジェクト」を実施します。このプロジェクトでは、身体・精神・知的障がい者、ひきこもり、ホームレスの方々など、様々な理由から社会参画することが難しい方々に、スポーツや音楽・映画などのエンターテインメントのイベント会場などのワクワク・ドキドキするような環境で、お仕事を体験していただきます。

『学生団体 Blined Project（ビーラインドプロジェクト）』：視覚障害を持っている人も持たない人も、一緒に同じように楽しめるボードゲーム「グラマ」（重さをテーマにした、4人で行うコミュニケーション型協力ボードゲーム）の体験スペースを提供します。

『タワムレ義足』：表面的には現実ではないが、本質的には現実であるかのような感覚。人生において実際に起こってしまったら最悪な事態を、アトラクション要素を加えて「義足体験」ができます。

『日本ブラインドサッカー協会』：目が見えない状況でのサッカーはどのようにプレーするのでしょうか？シュートやパス、ドリブルを実際に体験できる企画を行います。

『MIKAN～認知症と地域づくりと健康福祉～』：認知症当事者の「講演」と「認知症VR体験」、MIKANの「活動紹介」と様々な会員活動の参加型企画を実施します。

『明治大学国際日本学部岸ゼミ media チーム』：HSP(感覚過敏)の紹介を通し、一人一人が持つ「体や心の性質に向き合う機会」を作ります。自分について深く知るきっかけになると共に、知識を学ぶことで固定概念にとらわれず相手、他人への理解を深めることを目的とするものです。

『岸ゼミ テクノロジーチーム』：AR、VR 技術など様々なテクノロジーを通して「非日常を体験」してもらい、普段の生活では見たり聞いたりできないものを自分ごとにして考えるというものです。

『岸ゼミ Culture』：お雑煮のような全国各地にある料理でも、地域や家庭によっては違いが生まれます。そんな「違い」を知りながら、自分の地域やコミュニティを考えるきっかけを作ります。また、フェアトレードや女性支援の衣服を知ってもらう機会を提供します。

『明治大学国際日本学部山脇ゼミ』：やさしい日本語を学ぶことの出来る「やさしい日本語ワークショップ」ワークショップを行います。

『ろうちょ〜会』：「音のない空間の体験」を提供します。声に頼らないコミュニケーションに挑戦する企画をお届けします。

知る企画

『横田ゼミ&根橋ゼミ(明治大学情報コミュニケーション学部)』：差別や偏見を受けてしまいがちな、いわゆるマイノリティの方が自らの意思で本となって貸し出され、来場者の読者と対話するという「ヒューマンライブラリー」企画を実施します。22冊の本が参加されます。

『学習支援団体 CAMEL』、『中野よもぎ塾』、『ぬまぶくろワイワイ食堂』、『ゆるナカプロジェクト』、『東中野子どもレストラン』、『こどもほっとネット in なかの』：中野で子供支援を行っている6団体が合同で、「活動紹介や子供支援」について考えていることについて、プレゼン・展示をする予定です。

『株式会社エブリワンズロケーション/一般社団法人えぶロケ』：「障がい者(主に知的)の地元での活躍の場創出と事業を通じた地域支援、活性化の実現に向けて」をテーマに、プレゼンテーションによる活動内容の紹介を行います。

『公益財団法人日本ケアフィット共育機構』：社会が作り出す障害とはなにか？ということを考えるワークの紹介と展示を行います。

『公益社団法人 Marriage For All Japan』、『中野 LGBT ネットワークにじいろ(中野にじねっと)』：PS 制度導入の過程や同性婚訴訟について(原告、弁護団がスピーカー)など、スピーカー数人によるトークリレーで「中野区 PS 制度導入と同性婚実現へのあゆみ」を紹介します。

『コカ・コーラ ボトラーズジャパン』：当社の「LGBTQおよびD&I全般活動」について紹介します。

『社会福祉法人愛成会/NAKANO 街中まるごと美術館実行委員会』：中野区の商店街と（福）愛成会が協働して開催している「NAKANO 街中まるごと美術館！」のイベント内容や、多様な「アール・ブリュット」作家の作品をポスターや実物の展示で紹介します。

『鶴東はるか』：「盲導犬」のお仕事にプラスして、社会に出て沢山の方々と関わる中で考えさせられた問題点にも触れながら、みなさんに知っていただきたいと思い企画しました。声かけ、入店拒否、盲導犬ロボットなどについて触れていきます。

『電通ダイバーシティ・ラボ』：企業という枠にとらわれず、個人の気持ちや企業の施策、そして社会との関係をダイバーシティの観点から自由に語り合う場を提供します。社会人、学生、地域の人、それぞれの当事者がごちゃ混ぜになるような「ディスカッション」を作り上げる予定です。

『TRANS VOICE IN JAPAN』：日本社会を生きる GID/GD/トランスジェンダー当事者に焦点をあてたドキュメンタリー映画を上映します。トランス男性であり、この映画の監督・主演を務めた浅沼智也さんをはじめ、様々な立場の当事者の複雑な思いや、リアルが映し出されます。

『なかの生涯学習サポーターの会』：一人でも多くの区民に暮らしやすい街を考える機会を提供するため、高齢者や障害者、言葉の不自由な人など誰もが自立した生活を送れる情報を掲載する「ユニバーサルデザインマップ」を展示します。

『中野区多言語防災ガイドブック制作実行委員会』：難病の方向けに作られたガイドブックを参考に、中野区多言語防災ガイドブック制作実行委員会で制作した中野に住む「外国人向けの英語のガイドブック」を展示します。

『ビッグイシュー日本』：雑誌ビッグイシュー日本版をホームレスの方に独占販売してもらうことで仕事をつくり自立を応援する「出張販売」企画と、「雑誌のバックナンバーの展示」を行います。

『みま〜も桃園』：ポスター・チラシ・パンフレットの展示と動画(スライドショー)で各団体の活動(まちなかサロンや高齢者などの見守り活動)を紹介。そして、お出かけ安心キーホルダーの展示と当日申し込みを受付して無料でキーホルダーを作成します。

条例実質化企画

本年4月1日に発効された『中野区人権及び多様性を尊重する街づくり条例』記念シンポジウムを開催します。参加者がシンポジウムを通じて、人権と多様性を尊重した社会に向けた気付きを得ることを目的としたものです。

- ・時間：15：00-17：00
- ・場所：明治大学中野キャンパス 5F ホール
- ・パネルディスカッションのパネリスト一覧：酒井直人（中野区・区長）、岸磨貴子（明治大学国際日本学部・専任准教授・コーディネーター）、林考裕（電通ダイバーシティ・ラボ・企業）、浅沼智也（看護師／映画監督・性的マイノリティ）、甲賀佳子（いきいきトライアングル・障がい者）、田知殷（明治大学留学生・外国人）

事前登録不要、参加費無料でどなたでもご参加いただけます！皆様のご来場、お待ちしております！

